

参考1 連絡調整会議での事例検討を通じて顕在化した課題

1. 平成20年度自立支援協議会の協議事例（まとめ）

	担当	障害種別	主 訴（主な課題）
3 回 ／ 8 月	重心	身体・知的 10代 女児	母子家庭の母親の急死により、超重症児のケアを実家の祖母が在宅で行うことになったが、医療的ケアが不安。
	知的	兄：知的・40代 妹：知的・精神 30代	同居の祖父が介護施設に入所し、地域包括支援センターの関わりができなくなったが、今後、どう支援をするか。
	精神	知的・精神 40代 女性	離職、離婚し実家に戻る。本人は就労しお金を貯めて一人暮らしを希望。浪費、借金など金銭管理が問題。
4 回 ／ 3 月	身体	知的・身体／視覚 40代 男性	同居家族の母親の死去と伯母のGH入所により、独居生活となるが、山間部には障害者ヘルパーがいない。＊1
	精神	精神 60代 女性	長期間の社会的入院後、望んで地域移行したが、単身生活は難しい。（地域移行特別対策支援事業の対象）＊2

2. 連絡調整会議において検討された事例（1月～6月、キーワード別：概要別紙）

月	身体障害センター	知的障害センター	精神障害センター	その他
1	山間地での居宅サービスの不足 ＊1	県外から入院となった人への支援		重心：母骨折のため通所できず
2	退院後の医療的なケアの支援体制の不足	重症心身障害者が終末期の親を理解	就労希望だが意識・能力低い本人	
3	特別支援学校高等部への通学で、保護者が送迎できなくなった。	軽度障害者が就労希望だが、生活が不安定。	地域移行支援特別対策事業を利用したの地域移行例 ＊2	
4	療養型病院での退院後のリハビリ支援	就労するために解決すべき課題	アルコールの依存症患者への支援	
5	知的障害者が頸損になった対応	入院後、元の施設に戻れない	独り暮らしが寂しく、日中活動先へ	
6	重度障害者の母の入院への対応 ①	暴力的な本人の施設入所やGHの対応 ②	病識のない本人への支援・対応	

○付き数字は、後段3の発表事例

3. 自立支援協議会に挙げる事例・・・詳細別紙

- ①重度身体障害者（難病患者）が自宅で暮らし始めたが、主たる介護者の母が入院することになり、緊急時の対応を考えておきたい（身体障害）
- ②家庭内で暴力を振るうため、施設入所やGHを検討しているが、空きがない（知的障害）